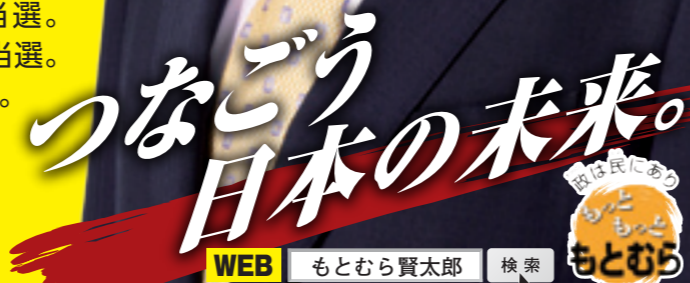


衆議院議員 民主党国会対策副委員長 もとむら けんたろう 賢太郎

- 昭和45年(1970年)4月生まれ。
- 相模台幼稚園・桜台小・相模台中・県立麻溝台高・青山学院大卒。
- 本村和喜参議院議員秘書、東鉄工業(株)を経て、藤井裕久衆議院議員秘書。平成15年神奈川県議に選挙区最年少で初当選。平成19年にトップの得票で再選。平成21年衆議院議員当選。平成24年総選挙で惜敗。平成26年総選挙で2度目の当選。
- 衆議院：経済産業委員会委員、政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会委員
- 民主党：国会対策副委員長、中央代表選挙管理委員
(平成28年1月5日現在)



WEB もとむら賢太郎 検索

1月4日、第190回通常国会が 召集されました。

民主党・維新の党の統一会派で、子や孫が誇れる国づくりを目指して臨みます！

いま最優先で取り組むべきは、少子化対策です。相模原市における出生率は全国平均より低くなっています。また、神奈川県希望出生率も全国より低くなっています。相模原市で子どもを産み、育て、働くことができるような環境づくりに子育て世代の一人として取り組んでまいります。

第190回国会における主な論点

■軽減税率よりも、給付付き税額控除で低所得者対策を！

消費税率を10%に引き上げる際に導入する軽減税率は、約1兆円という財源確保のめどが立たないまま、導入が決まりました。民主党の要請で財務省が行った試算では、軽減税率では1世帯あたりの税負担軽減額は年収が多いほど大きくなる事が判明しています。消費税導入時の原点に戻り、まずは国会議員自らの身を切る改革を断行するべきです。低所得者への配慮(消費税の逆進性対策)を考へても給付付き税額控除が望ましいと考えています。

■子育て世代への給付金をなくして、 参議院選挙目的のバラマキをすることには反対です！

昨年末に閣議決定された補正予算案に「臨時福祉給付金」の予算が盛り込まれました。低所得の高齢者約1,100万人に30,000円を1回給付するというものです。今年の5～6月に給付予定だということも含めて、皆さんの税金を使った参議院選挙対策の「バラマキ」だと言わざるをえません。そのために子育て給付金を廃止したのは、若者・子育て世代軽視ではないでしょうか。

■法人税減税は外形標準課税適用拡大の布石になる？ 税制に中小企業の視点を！

政府は、平成28年度税制大綱において、法人税引き下げを盛り込みました。他方で中小企業法人課税を検討課題としており、外形標準課税を適用拡大すれば、従業員給与まで課税対象になります。大企業優遇、中小企業軽視ともいえる政策ではないでしょうか。

■TPP大筋合意の中身は？「絶対反対」としてきた自民党公約との 整合性を説明すべき！

大筋合意がなされたと報道されていますが、内容について国会への説明がきちんとなされていません。主要5品目を守るという衆参農林水産委員会決議はなんだったのでしょうか。また、内容の説明がされていないのに、TPP対策予算が3,403億円も計上されています。TPP締結自体には賛成する立場であっても、内容不明な予算は認めるわけにはいきません。また、自民党は2012年衆議院議員総選挙で「うそつかない、TPP反対、ぶれない、TPPへの交渉参加に反対」というポスターを全国に貼っていました。そのこととの整合性をきちんと説明すべきです。

■GPIF、約8兆円の損失について政府はしっかり説明を！

年金積立金を運用するGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が約8兆円の損失を出したことが昨年11月末に発表されました。さらに、昨年10月からは格付けの低い高リスクな外国債券(ギリシャ国債含む)にも投資できるようになりました。年金基金は、国民が積み立てたお金を政府が預かって運用しているのです。ハイリスクな運用ではなく、安定した運用をすべきです。なぜ損失したのか、これからどう対応するのかを明らかにしていただかねばなりません。

もとむら賢太郎出張マイナンバー講座を行っています ※所要約1時間程度

今年1月から、マイナンバー制度が運用開始されました。「なんのための制度なの?」「個人情報は大丈夫?」など不安の声が多く聞かれます。もとむら賢太郎が、皆様に直接マイナンバーの説明に伺いますので、ご友人お誘いあわせの上、事務所にご相談ください!

《中面》JAXA相模原キャンパス・国民生活センターの移転問題や、小田急多摩線延伸にもしっかり取り組みます!

○ポスターを掲示させてください

ぜひ、ご自宅の玄関やフェンスなど皆様のお近くに「もとむら賢太郎ポスター」を掲示させていただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

○ボランティア募集

朝は駅でのピラ配り。日中は事務作業、ポスター貼り替え、ポスティングなどぜひ皆様のお力をお貸しください。



○ご寄付のお願い

財政的にも、もとむら賢太郎をご支援いただける方はぜひ宜しくお願い致します。なお、いただきましたご寄付は、税額控除の対象となりますので、下記事務所連絡先までお問い合わせください。

※政治資金規正法上、ご寄付いただける方は、「お名前」「ご自宅住所」「電話番号」「ご職業」をお知らせくださいますよう、宜しくお願い致します。

民主党神奈川県第14区総支部総支部長 もとむら賢太郎あて
横浜銀行 相模台支店 普通口座1525332

事務所

■国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2丁目2-1 衆議院第一議員会館 606号
電話(03)3508-7176 FAX(03)3508-3606

■相模原事務所

〒252-0203 相模原市中央区東淵野辺4-15-1 相模原総合卸売市場E棟7号
電話(042)768-9055 FAX(042)768-9066

■南連絡事務所

〒252-0313 相模原市南区松が枝町17-8 第2大栄ビル4階
電話・FAX(042)745-7920

真の「地方創生」とは何か？

地元・相模原の課題にもしっかり取り組みます！

もとむら賢太郎は、相模総合補給廠の爆発火災・供用前暫定利用、八王子バイパス無償化、圏央道値下げ、海老名ジャンクションの渋滞解消、リニア中央新幹線車両基地の観光利用、町田立体事業、首都圏の電車の遅延対策など地元の声に取り組んでまいりました！

今年3月末までに動きのある課題たち

■JAXA相模原キャンパス・国民生活センターが移転？！

安倍政権が進める政府系機関の地方移転。地方創生の一環として行われていますが、これが本当に地方創生になるのでしょうか？

東京一極集中を避けることには賛成です。しかし、地域に根付いている施設を移転することは全体のメリットになると思えません。また、移転した後の施設はどうするのかも不明確です。

JAXA相模原キャンパスは、産業の面でも、教育の面でも相模原に活力を与えてくれた市民の誇りです。はやぶさ2も順調にプロジェクトが進んでおります。はやぶさ2の生まれた相模原で帰還を見届けたいと思います。

また、国民生活センター移転については、プロセスがあまりに不透明で乱暴です。各県から移転提案を受付けるのは昨年8月末で締切っており、その時点では提案になかった案件でしたが、昨年末に急に内閣官房の会議資料の中で徳島県への移転検討対象となっていました。実は11月末にもとむら賢太郎が国・県・市に確認したときにも「対象ではない」と言われていましたので、あまりに突然です。研修施設でもあるのですが、徳島県ではアクセス面で課題があります。徳島空港は羽田と福岡(1日1往復のみ) 便しかありません。全国からの研修生はどう移動すればよいのでしょうか？

今年の3月末までに結論が出される予定です。こうした課題をしっかりと指摘し、加山市長と共に市民の皆様と一丸となって働きかけてまいります。



地方議員の皆さんと、移転問題について所管省庁からヒアリング



民主党本部にも移転を防ぐように申し入れ

■小田急多摩線延伸を実現へ！

今年度は、15年に一度の国土交通省の答申が予定されております。答申の結果は、事業の実現に大きく影響します。地元の皆様からも小田急多摩線延伸には大きな期待がありますので、党派を超えて政府に働きかけてまいります。



北川国土交通前副大臣に要望

今国会での役割が決まりました！ 政務・党務に全力で取り組みます！

衆議院：経済産業委員会委員、政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会委員

民主党：国会対策副委員長、中央代表選挙管理委員 (平成28年1月5日現在)

今国会では、初めて経済産業委員会と政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会の委員を拝命しました。安倍内閣は「経済」を前面に打ち出していますが、多くの方から「実感できない」というお声をききます。中小企業対策をしっかり行っていく視点から、論戦に取り組んでまいります。また、経済産業委員会は、資源・エネルギーや技術革新なども所管します。政府は原発再稼働を進めていますが、何度も被災地を訪ねていると、福島復興が進まないのはやはり原発事故に原因があると強く感じます。原発再稼働に反対・自然再生エネルギー推進の立場から、エネルギー政策に取り組み、あわせて原発と切り離せないプルトニウムの問題も取り上げていくつもりです。子どもや孫の世代につなげていける経済産業政策を求めてまいります。

また、政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会は、政治資金や公職選挙法を所管します。相模原のいびつな選挙区割りの見直しや、消費増税の際にお約束した議員定数削減、政治とカネの問題にしっかりと取り組んでまいります！

また、党務では引き続き、国会対策副委員長と中央代表選挙管理委員を拝命しました。国会対策は、表には見えませんが、国会での闘い方を決める重要な役割ですので、横暴な政権運営を繰り返す政府と党としっかり闘ってまいります！



2016年に予定されている政治日程

